



郷土資料

あれこれ 99 最終回

【問合せ】

社会教育課 文化振興班
☎773-3756

山仕事の安全を祈願した 「十二講」

山仕事（木材、しば木の切り出しなど）を行う家や集落などでは、十二様（山の神）を家の内鎮守や村の神社、山仕事を行う山などにまつています。3月12日には、山仕事の安全や豊作を祈願する神事として『十二講』が行われます。

十二講では、まず雪でかたどった祠（ヤマ、ヤグラともいわれます）と段という祭壇が作られます。祭壇には、ハタと呼ばれる紙の的を立てます。的にはカラスの目玉になぞらえた「◎」、その周りに鋸、鉋、鎌、鍬、蓑、笠などの山道具や農具、カラスの姿などが描かれます。この的を射るための弓は、栗や杉の枝の皮をはいで作られ、弓の上端に三本、中央に五本、下端に七本の筋が墨絵で書き入れられました。弓の弦は麻糸で、矢は茅で作られました。一段に灯明、小豆飯や大根なますなどを供え、的に描かれたカラスの目

玉に向かって「天上つくり 山つくり カラスの目玉へ スットントンのトーン」（集落などによって異なります）と唱え、矢を射り、祈願しました。

十二講で使われた弓矢は子ども遊び道具となったり、弓を5月の苗代の時期に水口に立ててカラス除けに使われたりもしました。また、十二様は女神であるとして十二講の行事は男性が行い、女性の参加を避けるところもあるようです。

プロパンガスや電気製品などの普及により、しば木も不用になるなど山仕事の少なくなってきた現在ですが、今も伝統的な行事として行っているところもあるようです。



《引用・参考資料》『六日町史』民俗「雪国と暮らし」

《写真》個人所蔵

「郷土資料あれこれ」は今回で連載を終了します。長らくありがとうございました

学校を地域で支援しています 学校支援地域本部の活動

【問合せ】

子ども・若者相談支援センター
☎788-1950

学校支援地域本部は、学校で行う総合学習や行事などを、講師の派遣や活動場所の提供など、地域のひと（人材）・もの（資源）で支援する組織です。

市内すべての小中学校に地域コーディネーターを配置し、学校と地域の連絡・調整役としてさまざまな活動を行っています。

学習支援

- ・生活・家庭科など（調理、ミシン、企業見学）の授業の教員補助
- ・読み聞かせボランティアの手配
- ・地域伝統文化（米や野菜づくり、縄ない、地域の歴史）の講師派遣

行事支援

- ・運動会、文化祭などの準備・運営

環境整備支援

- ・花壇の整備、敷地内の掃除

交通安全指導

- ・交通安全教室の開催

その他

- ・登下校の見守りボランティアの手配
- ・クラブ・課外活動コーチの手配

このほか、学校と地域の交流活動にも関わり、地域行事（まつりなど）に学校が参加するお手伝いもしています。地域のみなさんの力で学校活動を支援し、学校と地域がともに元気になることをめざしています。

地域

【効果】
人材・資源の活用
学校との交流機会の増加（地域の魅力の気付き）
⇒地域の活性化

講師などの派遣
もの・場所の提供

地域との交流
地域イベントへの参加

学校

【効果】
教員の負担軽減
地域の特色を生かした授業（地域の魅力の発見）
⇒より充実した教育

学校支援地域本部
地域コーディネーター

連絡調整

協力依頼



地域伝統文化（縄ない）の講師活動の様子（大崎小学校）